

ごあいさつが遅くなりましたが、無事「東北復興チャリティ二人展 ー3.11 を忘れないー」東京会場を閉幕しました。

芳名帳だけで123名、お書きにならなかった方、また会期中、いく度もお運びになる方もあり、おそらく延べ150～160名ほどの方がご来場くださったのではないのでしょうか。このような企画展の開催に、感謝の念を伝えてくださる東北ご出身の方もおられました。なかには、ギャラリーに足を踏み入れた途端に涙ぐむ方、ご親戚が被災して亡くなられたと語り始める方もおられ、皆さまそれぞれにそれぞれの想いで、「あの日」にお気持ちを寄せてくださったように思います。

また、下記の金額を「まごころサンタ基金」に寄付させていただきましたこと、ご報告申し上げます。

- ・募金箱 116,420 円
- ・原田先生絵画売上金より 10% 42,400 円
- ・松本先生絵画売上金より 10% 17,930 円

合計 176,750 円

岩手の皆さまをはじめ、本展に関わってくださった皆さまとの、小さなご縁の巡り合わせあってこそこの企画実現でした。これはまるで、大槌町に流れ着き芽吹いた1本の稲穂と同様、それぞれに灯ったアイデアと想いが、やがて育ってこの稔りになったかのようなようです。関係者各位にあらためて感謝申し上げます。

最後に、これは知人の言葉を借りてのことなのですが、わたしたち、みちのくココロ寄せ描き隊の想いをまさに象徴しているので、ここにご紹介して締めくくりとさせていただきます。

復興は
カタチあるものを再び作り上げることだけじゃない
私たち一人ひとりが痛みと向き合い
ほんとうに大切にしたいものを
自分自身の中に落とし込み
生きること未来につながって

2021年4月8日

みちのくココロ寄せ描き隊
(色川善一・蕭月紅・原田鎮郎・松本忠・森山佳代)